

発行責任者
森 芳信

〒270-1164 我孫子市つくし野3-13-107
TEL 0471-84-8443



◎平成11年度会長就任ご挨拶
関東浪速工業会の活性化
(A37)森 芳信

この度、関東浪速工業会会長の大役を仰せつかり微力ながらも当会の益々の発展に多少なりとも寄与できればと考えております。

三七年建築科卒業、即東京勤務となり、以来三七年間人生の三分の二を東京ですごしてきました。その間幾度か関東

◎道路の下に地下河川

(M34)石川 芳夫

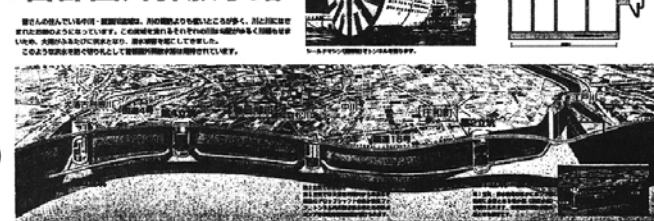
近年、急速な都市化の進行に伴い、保水、游水機能の低下や流出形態の変化および低地部の開発などにより、比較的少ない降雨によっても浸水被害が起こっている状況である。このような浸水被害をなくする為に、総合治水対策の一環として、道路等公共施設の地下空間を積極的に利用し、地下に新しい河川をつくる事業が行われている。東京都では、神田川調節池、白子川調節池や、神奈川県の帷子川分水路、今井川調節池、大阪府の寝屋川南部、北部調節池等である。建設省の直轄が首都

浪速工業会の集いに参加しつつ痛感してきました事は、いまひとつ参加者の少ない事でした。会の活性化のための基盤となるのは、ひとえに各料ごとの活動と会員同士の日頃のネットワークにあると思います。よって本年度はまず、なるべく各料単位の何らかの集まりをもつていただき、旧知の先輩、後輩又は同期の間の懇親を深めそこからこの関東浪速工業会への参加意識の喚起をしていければ、且つ今後この様な形が恒例となれば更に活性化していくのではと考えております。またネットワークに関しましては、関東浪速工業会会員名

圏外郭放水路(埼玉県)、大津放水路(滋賀県)の事業がある。トンネル技術や水理解析技術の進歩によって、建設費や維持管理費の面で開水路よりも、経済的な圧力管方式で主に施工されている。他の構造物と幅替するので必然的に大深度(五十〜六十メートル位)に大きなトンネル(直径六〜十四メートル位)をつくることになる。シールドマシンが立坑からの発進と立坑へ到着する時に補助工法として、東京湾横断道路にも採用された地盤凍結工法が活躍しております。



～未来につなげる地下の川～
首都圏外郭放水路



簿の整備を実施し皆様にお届け出来ればと考えております。これが基となり会員同志の新たな思わぬネットワークが生まれたり、又拡がっていく可能性もあるかと思われま。そのために是非とも会員皆様より同期先輩、後輩の最新の情報(転勤転居等)を各料幹事宛頂戴出来れば幸いです。関東浪速工業会の今年の催しにつきましては目下幹事会で鋭意検討中です。近日中に順次お知らせが出来るかと思えます。どうぞ今年一年、会員皆様方よりの御指導、御鞭撻宜しくお願い致します。

◎都工と剣道部との出会

(C18)秋月 勝実

私が都工に入学した理由は、父が大阪市の水道部のお役人であったが、何せ事務職員のため技術職員より軽視され勝ちなので、くやしい思いをしていたそう、お前には大きくなったら土木屋になれ!!が口癖、どうせ入るのなら名門の都工ならという事で受験をしました。当時小学校ではクラスで首席でないとは推薦されない位合格率の高い学校だったので、私は学力優秀の免状(品行方正の項目は無かった)がもたらえたので見事合格、入学できた次第。入学後、部活をどこにしようかと迷っていた所、父が又口出しして、お前も九州男子の端くれだから剣の道に進めばヨカ!!と一喝され、しぶしぶ入部する。剣道部卒の大先輩には大正八年卒中呂先輩、大正十年卒坂本先輩がおられ、特に坂本先輩は剣友会誌に「無倦」を揮毫され、読み「倦(つ)むこと無(な)し」意「つきることなく、わきみせず、初心を忘れぬよう心がけよ。現在の剣友会誌も年一回発行されて会員に配送されています。私共は当時、吉野、和田山・日榮、等の先輩に稽古をつけていただき、仲間には、中村・米田・福住・三島・佐藤の各氏が頑張っていました。対外試合

には出場したもののあまりバツトしない成績であったように記憶しています。卒業後一度も竹刀を握った事はありませんが、軍隊に在籍時代終戦後兵器の返却命令があった時、将校が「お前は剣道三段というんだからこの軍刀で竹を切ってみせろ」と命令され、ここぞとばかり一刀にてスパッと切るつもりでやったが、映画のチャンバラ劇で見ると「スパァー、スパァー」とは切れなかった事を覚えていた。しかし五年余りの練習には、欠席しなかったせいか、社会人になり、特に土木屋として現場は歩くのが商売、特に山登りには若い者には絶対負けなかつたし、現在も心臓が悪くても足腰が丈夫なのは当時の鍛練のお蔭だと喜んでいきます。戦後の「ドサクサ」で住居も職業も転々とし、学校関係も音信不通の状態でした。誰から知らせがあったのか記憶にないのですが、剣道部の菊地先生の喜寿のお祝(米寿かも知れない)をするので参加しないかとのお願いがあり、大阪の阪急会館に出掛けて先生を始め、先輩後輩各氏と再会出来一刻を過さず事が出来ました。

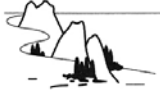
特記すべき事は俳優の金田竜之介氏との再会でした。

「先輩」きげんさんです。」と声をかけられ、どなたでしたかなあと考えていると「昔稽古をつけてもらった金田でんがなと言われ、多少は思い出した次第。「先輩」はナンバよく張ってましたからよく覚えてまんねん」と言われて一瞬ドキーとしたが、最近よくテレビに出て来る女たらしのスケベー役をよくやる金竜かなあーと理解。それ以来出来る限りお芝居を見させていたたいです。今年度の行事の一つに彼の観劇会が組まれていますが、多くのご参加を誌上を借り彼に代わってお願致します。

彼の一人芝居「円空」も好評でした。もう一度アンコールをお願いしたい一人です。最後に彼の「円空のうた」を紹介して、会員諸兄の御健康を祈念して終わらせていただきます。合掌

【円空のうた】

- 1 荒れて狂ったヤロカの水に見交す母者とおいらのひとみ
- 2 残った木の枝 この掌に別れの言葉も聞けなんだ木の根まぐらに紅葉を友に母にあげたや観音菩薩胸に一心とく夜半一人谷で清よめた鈍の刃え
- 3 きさむ地蔵さまにまだ見ぬ父の顔を見たよで 喋つてしまった伊吹嵐は おいらの師匠そそる岩場で 御来迎



- 4 みのと笠とをあげたいものよ 乞食坊主と通せんぼされて雪の弘前お城の町を棒で追われて いたまじや雪や水や しぼれる風に破れころもじやさも寒からうせめて着せたや 刺子アツシピリカメノコの思い刺し行くは大峰 修験のお山 役の小角の御跡を徳ひ
- 6 吉野千本 伏寝の夢は桜吹雪で起こされた
- 7 病人だ村には護法神まつろ雨が降らなきや 捨身で祈る人にあたえて、人はげましてつらい別れじや わらべたち
- 8 なにを祈るかまふたを閉じて一人静かに両手をあわせ西のお山に夕陽が沈みや仰ぐお顔も深いかげ
- 9 杖は一本 わらしもしめた阿弥陀仏から十萬ほとけ
- 10 つくりあげたを念願とげた行こか みなみのふるさとへ山にや権現 峯雪聖師
- 10 木つ端 木の幹 龍玉をる願う心は 極楽浄土 今日ひ円空寺 一人旅

◎イギリスのこと (A37) 越田 勝

私は現在、千葉市内の東千葉に住んでいます。隣町は椿森といい、自宅マンションに隣接している部分に、小さな森があり、大きな木立ちの間から、冬には美しい椿の花がいくつも顔をのぞかせます。

現在、その大木を何本も切り倒し、乱暴な宅地開発が行われており、腹立たしく思っています。樹齢百年以上と思われる立派な木を、アツという間に切り倒し、自分の所有地を一センチでも有効活用しようとする宅地の南北は切り立った崖のようになっています。将来崖崩れ等災害のおそれを予感します。腹立たしく思っているのは、私だけではなく、近所のかかりの人達も同様です。

この様な事例を見聞するにつけ、ロンドンでの体験を思い出します。私は一九八七年八月から約五年間家族と共にロンドンに駐在しました。私の勤務している(株)ダイフク(コンベンヤー自動車庫メーカー)の現地法人の設立とEU諸国へのビジネスの拡大が私の任務でした。ロンドンの西部、ウエストアクトンという町に住んでいました。ウエストアクトンの周辺には、チューダー王朝様式の木組みの美しい家並みが残され

ており、両側の家並みにはさまれて、緑のトンネルの中を道路が走っている様な都心とは思えない美しい住宅地でした。

ある日、地区の住民の集会に出席する機会がありました。議題の一つは、住宅前のポプラの大木の根が道路のコンクリート突き破ったり、住宅の基礎を破壊する恐れがあるので伐採すべきか否かでした。結局その場では結論が生まれませんでした。彼等は周辺の木々にも住環境の一部として、真剣に考えると同時に、草木に対する愛情も非常に深いものを感じました。

又、ある時、私の隣の家の台所(表通りからは見えない)を少し拡張する為、地区の委員会に図面を添付して、許可の申請をし、隣近所の了解を得れば承認ということなので、私の家に了解を求めにきました。ロンドンでは、都市の景観を保つことと大変な努力と、神経を使っており、玄関ドアの色さえ、勝手に好きな色を塗ることは許されません。

日本では「自由」の名の下に野放図な開発が横行し、都市景観を破壊している例が、余りにも多く、悲しいことであると思えます。何故この様な結果になるのか？私の勝手な結論は、残念ながら、日本は「良質なリーダー」を欠いている「為であると

考えます。非常に強い権限や、重要な決定を行うリーダー達が、真に高い使命感を持ち、無私の精神で、自分たちに与えられた仕事を公正に遂行するという意志力を持つていれば、多数の人々の共感や、支持を得られるに違いないと考えます。

私の憶測ですが、日本では、特定の利益集団に影響されたり、自分の将来の為に現在の自分の地位を利用する人が、多すぎるのではないかと……

イギリスには、前述の様に、特定の義務感を持ち、幅広い教養と、広い心を持った人々が、システムティックに、次々と産みだせる社会そのものの徳目とも言うべきものがあると、感ぜざるを得ません。日本の現状と比べると羨ましい限りです。

話は飛びますが、イギリスにはTV番組の品質をコントロールする委員会があります。この委員会は、各TVステーションの放送権をキャンセルするだけの権限を持っています。TVの社会に与える影響が強大すぎるから野放図にさせては駄目だ、という極めて尤もな理由から、この委員会が設けられています。これも日本なら、「報道の自由」の名のもとに、強烈な反対運動が巻き起こるに違いありません。しかし、日本の民放のゴミの様な番組の氾濫と、

イギリスのTV放送の質とを較べると、イギリスの方が、はるかに知恵があると確信しています。しかし、これも委員会のメンバーが日常、高い倫理観と使命感を持つて、仕事をしていいるからであろうと思っています。

リーダーの質についての両国の差は、残念ながら、途方もない差であると感じています。



◎島の栗鼠

(M18) 小川 玉

袴着の女生徒目立ち春北風 島の栗鼠赤い椿を落としたり 春潮や岬の鼻の石三つ 途切れなき囁りに日の

うるむかな 桃の花二日過ぎての旅疲れ ジーンズの熟女三人花の寺 日照雨来ぬ岸の桜のしだれ癖



◎英語との付き合い

(M26) 福岡 照夫

会社勤めが終わったなら「あれもしたい、これもしたい」と思っていたが定年になった翌日の朝起きて「さて、何をやるべきか」服を着替えてカバンを持って情性的ように駅に向かっていた日々が懐かしく思えた。

永い会社員生活を振り返り、(暇がない、忙しい)との理由でやらなかった(やれなかった)のではなく、怠けくせのため)事の一つに、職場で使っていたカタカナ用語の説明書作りがあった。職場の後輩の教育用に作ってあった原稿をもとに用語を追加してまとめてみた。約五百語のカタカナ用語のスペルと語彙を調べると共にそのカタカナ用語の職場で使われている内容の説明を付けた。

ある会社に勤めている友人が原稿の話を開きつけ、その会社が原稿を買ってくれた。会社では校正を加えて本にして営業用に配って大変好評であったとのこと。先ずはひと安心。

私はこの用語集作りを通じて今まであまり意識せず英単語を辞書で引いて自分に必要な語彙だけを拾っていたが、案外やさしい単語でも知らない

語彙が沢山あるのに気付いた。例えば、フランスサッカーのユースに使われた言葉がある。

gongはよく使うのだが。新聞のチラシに出てくるクリアランスセールがある、クリアランスは機械屋さんがよく使うが、外国のトンネルの入り口に出てくるクリアランスは通過車高制限数値を示している。ほかの類語などを拾っていると、週二時間の英語授業は何だったのか英語との付き合い方を改める必要があるのではないかと考えさせられた。

日本語で使われないRとLの使い分け、発音も出来ないけれどこの用語集作りで再び英単語に接し、心臓に毛が生えたのか外国での買物には必ずモーターゲンとかモーターデイスカウントと言ってみる事になっている。大阪生まれだもの。

数年前の話だが、ワイキキのショッピングでモーターゲンと言ったところテンパーセントオフオーケーの返事が返ってきたのもう一押しと、Where come from.と問うたところコリアンと答えたのですかさず、アンニョンハシムニカと言ったところ、四十パーセントオフオーケーしてくれました。

先日、ゴールドコーストでモーターゲンと言ったところ大男の店員(店長か)私の顔をにらみつけノーと答えたのでサンキューと言って店を出かけた。ハイ ウェイト ジスイズプレゼントと言った値段はそのままでおまけの品を付けるから買ってくれとのこと、下手な英語で少し遣り取りする内にプレゼントを一つから二つ、三つへと増やしてきて商談成立。

英会話勉強の一番の近道は英語圏の外国でのアメ横流値切りショッピングではないだろうか。

◎ベトナム訪問雑感

(E36) 石垣 英



国際協力事業団の無償資金援助でベトナム全国の電気通信整備計画調査を実施するため昨年八月から今年の二月にかけて二度、約二ヶ月にわたって、ベトナムを訪れました。首都ハノイには、香港経由で、約七時間の空旅で到着します。日本とは二時間の時差があります。ハノイの第一印象は蒸し風呂のような暑さ、人が多くて活気があること。自転車とバイクがメインストリートで我が物顔で走っている状況でした。そこには社会主義共

和国とは思えない自由があり、想像したより生活物資が豊富で、三十年前のベトナム戦争で受けたであろう傷跡はあまり感じられず、中国と同様、急速に発展していくであろう国の勢いが肌で感じられました。数字的にみれば一人当たりの国民総生産(GDP)は約三百三十ドルで、まだまだ貧しい国のひとつになっており、社会基盤となるインフラ整備も、日本より三十年は遅れています。しかし現実のベトナム人の生活を見ていると、まるで違います。特に食生活ではそうである。米はふんだんにあってレストランで食事しても、実に食物が豊富です。ハノイ市民の顔は明るく勤勉で七千五百万人の国力を有する国として確実に力をつけつつあり、先進国への仲間入りも、ほど遠いものではない。電話の加入回線は、昨年末に二百万回線を達成し、通信インフラだけみると、外国からの直接投資により、インターネット等の情報化ならびにデジタル化も進んでおり、もう開発途上国とはいえない状況がうかがえた。全国的にみると、最も発展しているのが、ホーチミン(昔のサイゴン)で、次いでハノイ、ハイフォン、フエ及びダナン順で都市化が進んで

います。しかし、中部地域の開発は遅れており、南北の物流もさほど多くはなく、国道一号线を北から南へ下って行くと、北緯十七度を境にして、昔の南ベトナム領に入ると、道路・街並みが一変し、北と南の貧富の差が目立ちます。南北が二千キロもあり中央部の東西の幅が五十キロしかない細長いE字型の国をバランスよく統治する難しさを感じられます。アオザイ(長い上衣の意味)の似合うスリムで美人の産地でもあり、実に女性がよく働く国です。刺繍などの精巧な織物が得意で、中古のバイクも故障してもたちどころに分解修理するほど手先が器用で、頭のよい優秀な国民であることがうかがえました。ベトナムは千年に及ぶ中国支配や百年間のフランス植民地たるアメリカとの戦いにも勝利した国で、一見華奢なベトナムの人のどこにこうした強靱なエネルギーが潜んでいるのか、とにかくしたたかで粘り強い性格の国民であるのが私の印象です。始めは、とっつきにくくて、あまりよい印象を持たなかった私ですが、二ヶ月住んでみると、ベトナムの良さが分かり、この国には援助のしがいがあるのではな

いかと感じられました。あらかじめベトナム語を勉強して現地調査に入りましたので、ベトナム人ともすぐ親しくなり、今では、すっかりベトナムびいきに変身している自分に驚いている次第です。

◎私の海外駐在記(エジプト編)



先日、ゴルフ仲間の友人がお嬢さんとエジプト旅行をすると言いました。先年ルクソールのハトシャブスト女王葬祭殿でイスラム原理主義者による日本人を含む観光客が射撃され死傷者を出した事件はまだ記憶に新しいと思いますが、最近、日本の外務省による観光自粛が解禁され旅行社が企画したようです。

私にとつては一九八三年から八八年まで六年間駐在した国であり非常につかしい思い出でした。少し思い出して書いてみたいと筆をとりました。

一九八三年一月二六日、五〇

○キ口を越える荷物を会社から託され一人で日本航空南廻りでエジプトカイロ空港に着きました。ターンテーブルから出て来る荷物がすべて自分の荷物と思われる量。普通の手押し車ではとても乗せられない。よく団体旅行で客のスーツケースを乗せて運んでいる小型トラックの荷台ぐらいの大きな荷車で運びました。量の多さで税関の通過に時間がかかりうんざりでした。日本ではあまり経験しない、カイロでの生活のことを少し紹介しましょう。

戦時中、米を一升瓶に入れ桶にて精米したと本で読んだことがありますが、エジプトでは桶から脱穀するのに道路に桶を置き、車に轆かせて脱穀する方法が取られているものもあり、その後の精米でも小さな石が混ざっていることが多くありました。そのため、休日は妻と二人で米をテーブルの上に広げ、一週間分のごみとりを行います。それで安心してごはんがいただけるという事です。

日本とのカルチャーの違いで驚くことが色々ありましたが、日本人学校が企画した親子で砂漠での夜空の星の観察などは、日本ではまず経験することはないでしょう。夕方各家庭から学校に集まりバスに乗ってカイロから砂漠道路の途中まで行き、満天の星をながめます。学校の先生が懐中電灯を指しますとその光が星まで届くのではないかと感じるで見られます。子供たちにも良い勉強になったように思っています。

六年間の駐在期間には厳しい生活環境の中、楽しみを見つけ、なつかしい国としての思い出が沢山ありますが紙面の関係で語り尽くせません。また何かの機会がありましたら記したいと思います。

平成11年度の当会活動予定

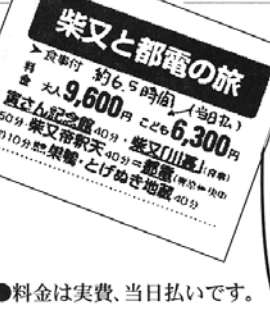
- 七月：親睦会(前述)
- 十月：観劇会(金田竜之介氏・三田佳子他)・ゴルフ会・Mニュース発行
- 十月：総会

親睦会のご案内

左記のように親睦会を催したいと思えます。ご家族の参加も大歓迎！奮ってご参加下さい。

ハトバスで楽しいパーティ

日時：平成11年7月10日(土)
朝10時 東京駅出発
約6時間半のお楽しみ！
料金：大人・九千六百元
子供・六千三百円
食事付き



柴又と都電の旅
約6.5時間(当日私)
乗車券 大人 9,600円 小童 6,300円
遺品記念品 40分
50分 柴又寄駅天 40分
約10分 柴又乗換・七ヶ池地蔵 40分

都電にも乗ります

◎Mニュースのデザイン変更

(A28) 岡田 宏三
Mニュースの第一号でタイトルデザインとレイアウトを担当させて頂いて早くも19号。今年には建築科が幹事科になったタイミングにもっと楽しくなるようタイトルデザイン変更と各頁カット挿入を行いました。どしどしご批評ください。

平成10年度関東浪速工業会総会出席者名簿

来賓	建築	機械	電気	土木	工業化学(旧職員(機械))
西岡武治理事長	鹿山富士夫	稲生正勝	上畑清郎	西谷通晴	向田郁夫
清水勝年総務部長	酒井 保	小川勝宏	加藤利夫	北里直行	田中 浩
永田宏道学校長	岡田宏三	神鳥 章	松尾嘉雄	榎本嘉信	芳仲 宏
近江巳記夫	田中義造	上田英雄	島 節雄	土屋 覚	馬江治喜
衆議院議員	近江巳記夫	石川芳夫	野村 明	菊田正巳	田中 進
	森 芳信	前田範行	戸部 暢	田中 弘	山下勝比
	岩井浩一	松尾嘉雄	真鍋静夫	明見和彦	山本克巳
	西口勝臣	加藤利夫	丸尾孝信	田中 弘	松本 進
	信原利行	上畑清郎	岩崎亮平	松井駒治	前田 博
	山本克巳	加藤利夫	平松 功	柴田孝次	松本 進
	中野正義	松尾嘉雄		清水一三雄	
	田中 進	島 節雄			
	山本克巳	野村 明			
	松本 進	戸部 暢			
		真鍋静夫			
		丸尾孝信			
		岩崎亮平			
		平松 功			

記●親睦会申込み書●観劇会・ゴルフ会資料申込み書●

関東浪速工業会事務局宛 FAX 03-5441-4383
名前： () 科 () 年卒
住所： ()
電話： () FAX： ()
●親睦会に 出席・欠席 します。(本人、他)
●右記資料送付願います。(観劇会・ゴルフ会)



柴又駅

●料金は実費、当日払いです。

※寄稿して頂いたこのM-NEWSの文章の中で、助詞や前後文章の入れ替えを行ったことにより読みやすくなる部分については、意図する内容が変化しない範囲で少々変更させて頂きました。何分ご了承下さい。編集担当